

【礼拝賛美】「主はぶどうの木」

(※↓★↓※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です

いつも離れずに

主はぶどうの木

わたしは枝です

豊かな実を結ぶ

★みことばにとどまり 愛に生きるなら

この世は知るでしょう

主の救いと いやし

■お別れの時（献花・面会ができます）

明日9日（月）午後1時～8時

特別な式はありません。

どなたでもお越しください。

■告別式（家族葬）

明後日10日（火）午後1時より

家族葬と致します。

・葬儀についてのご質問やお問い合わせ
は荻野牧師まで。

・両日ともに御花料は辞退されます。

・両日ともに会場係等の奉仕者を募集し
ています。部分も歓迎。荻野牧師まで。

・葬儀に先立ち4日夕刻に納棺式を行いました。
荻野牧師、田中師、林伝道師が
立ち会い、ご家族と共に、祈りとみこと
ばと賛美のうちに葬儀への備えを致し
ました。

No.10 2025・6・8

ですから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。

ルカの福音書 22章32節

今日はペンテコステです。天に昇られたイエス様はペテロら弟子たちに聖霊を遣わしました。以来、イエス様を神の子救い主と信じる人には聖霊が宿ります。現代に生きる私たちもその恵みの中に生かされています。

ペンテコステにおいて大切なのは、神である聖霊が信じる者の心に宿られたということです。キリストの弟子たちが聖霊との深い結びつきに生きる関係に入れられたのです。その恵みを最初に受けたペテロはどのような人物だったでしょう。

ペテロは主の弟子でありながら十字架の前にしてイエス様を裏切りました。イエス様

はそれを予見していましたが、その上でペテロの信仰がなくなるように祈り、彼がそこから立ち直ったあかつきには、他の人を力づける存在になるようにと励ましています（ルカ22章32節）。

ペテロは非難されてもおかしくないことをしました。しかし主は彼を切り捨てず、ご自身を証しする者として回復しました。

このことが示すのは、主がご自身の証し人として世に遣わすのは、自分の限界や人間の弱さなど人の痛みを知っている者だということです。それはイエス様の姿でもあります。イエス様は誰よりも人間の痛みや悲しみを

知り、十字架で担ってくださいました。

ただし、傷や痛みは主にあって慰められる必要があります。イエス様はペテロに「立ち直ったら」と仰いました。イエス様は復活後に何度かペテロにお会いになり、ペテロの痛みを丁寧に扱いました。ペテロ自身がまず先に主の恵みの扱いを受けて回復と励ましを受けたのです。だから聖霊が共におられるようになった時、彼は励まされて、世の痛みと悲しみに沈む人に希望を指し示す存在となりました。

私たちもこの世にあって傷つき、痛みを抱える悩み多き者です。だからこそ人の痛みを知る事ができます。救いの恵みを実感さめて語ることができます。聖霊が共にいて弱い私たちを支えてくださっていることを覚えて進みましょう。（泰）

6月8日	パンテコステ礼拝
小礼拝 9時	荻野牧師
聖日礼拝 11時	中西け兄 榊原 姉
前 奏	
招 詞	イザヤ書49章13節
会衆賛美	聖歌145 御霊の神よ
会衆賛美	主はぶどうの木
主の祈り	
交 読	詩篇147篇1～11節 (旧約聖書 108頁)
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	ルカの福音書 22章31～34節 (新約聖書 166頁)
説 教	主が遣わされる人 荻野泰弘牧師
洗 礼	
会衆賛美	聖歌513 イエスの御腕に
献 金	
頌 栄	聖歌376 父御子御霊の
祝福の祈り	
報告	
入会式	
感謝祈禱	奏楽

【招 詞（主の招きのことば）】
イザヤ書49章13節「天よ、喜びの
声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々
よ、歡喜の声をあげよ。主がご自分
の民を慰め、その苦しむ者をあわれ
まれるからだ。」アーメン

【本日の予定】
■会堂清掃 礼拝後
■小学科ホザナ礼拝 11時～ 3階
■バイブルカフェ お休み
■各会例会
ダニエル会 3階304～306
ミモザ会 3階301～303
オリブ会 4階和室
青年会・ホザナ会 4階牧師室

・ミモザ会はミモザセールを行いま
す。書籍もあり、他の会の方も
立ち寄りくださいとのこと。
・青年会・ホザナ会は洗礼のお祝い
会です。

【本日の礼拝奉仕者】
■小礼拝・オンライン配信
司会 荻野牧師
報告 荻野牧師
会場 荻野牧師
配信 配信チーム

■聖日礼拝
礼拝祈禱
聖書朗読
献金1階 田中師
2階
献金祈禱 司会者
報告 荻野牧師
会場
受付
パワポ パワポチーム

【今週の予定】
12(木) 10時半～ 祈禱会
13(金) 10時～ 宣教部打ち合わせ

【次週の説教】父の日
説教 田中師
説教箇所 ヨハネの福音書
16章25～33節

【本日 パンテコステ】



弟子たちは、十字架の主を裏切り自
分の弱さを思い知りました。信頼して
いた主が復活ののちに天に帰られた
ことは不安でもあったでしょう。人の
弱さ、乏しさを味わった弟子たちに、
主は聖霊を遣わすとの約束を果たし、
ご自身の真実を示しました。聖霊なる
神の内住は弟子たちを強め、励まし、
福音を証しするために出ていく力の
源となりました。聖霊は今も私たち信
じる者の内におられます。この慰めと
力を受け止めましょう。

主にあって新しい家庭が築かれた
ことは大きな喜びです。引き続き、お
二人のためにお祈りください。
尊い奉仕をしてくださった兄弟姉
妹、祈ってください方々に改めて感
謝を申し上げます。

【今後のトピックス】

※カジュアルサンデー
6月より夏季期間として礼拝奉仕
者も上着、ネクタイ等を外す夏季軽
装とします。

15日 父の日礼拝 説教 田中師
聖日礼拝後に献児式を執り行い
ます。司式 荻野牧師

22日 大掃除
夏を迎えるにあたりエアコンの
清掃などいたします。ご協力をお願
い致します。

29日 講壇交換（教団）
説教 岸田悟牧師

霊修会訪問アピールデイ
※荻野牧師は講壇交換で沼津へ

7月6日（日）宣教礼拝
講師 永井敏夫師
元日本ウイクリフ聖書翻訳協会宣教師
災害支援クラッシュジャパン代表理事

※年間計画で7／6に予定の「多磨
霊園納骨堂開放」は中止します。